

緑化センター

みにがいど No.14

盛者必衰の理？

ナツツバキの花



緑化センターではナツツバキが盛んに白い花を咲かせています。ツバキに似た白い花は茶人にも好まれ茶花に使われます。

ところで、ナツツバキはシャラノキ（沙羅樹）などといわれ、寺院によく植えられています。平家物語の「沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理を顕わす」の「沙羅双樹」すなわち釈迦入滅のとき、淡黄緑色の花が一斉に灰(白)色に変わったといわれるものとは違うようです。でも気品のある白い花を見ていると、伝承を信じたい気持ちになってきませんか。

ナツツバキ ツバキ科

本州の新潟県以西の日本海側，福島県以西の太平洋側，四国，九州，朝鮮半島に分布する落葉高木。ツバキ科だが他のツバキと違い，初夏に直径5cmほどの白色の花をつける。花弁の縁に細かい歯状の切れ込みがあり，背面に白色の絹毛を密生する。

花は次々と咲き1～2日でぼたりと落ちる。このため庭園では毎日落ちた花を片付けないと見苦しくなる。

日本のナツツバキ属はこの他に，ヒメシャラとヒコサンヒメシャラがある。

緑化センターには，レストハウス，本館，展示館付近に植えてあります。

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス